

連棟ビニールハウス 水受け 除雪/除氷用

□ 概要

冬季降雪時の連棟式ビニールハウスでは、人手による雪下ろしに労力と費用がかかり、豪雪時に倒壊する危険がある事は既知の事実であります。一方融雪ができれば、ビニールハウスの連棟部分の水受けを通して排水する事も可能だと考えます。そこで、当社で扱う電熱網を設置し融雪後に両側面の水受けより排水するシステムを提案致します。

小電力で設定温度まで発熱し融雪及び融氷する事でビニールハウスを災難から保護し冬季に出荷される農産物を冷害から保護。

また生産物を安全的に栽培する上でもシステム設置を熟慮される事が冬季における生産性のポイントと言えます。



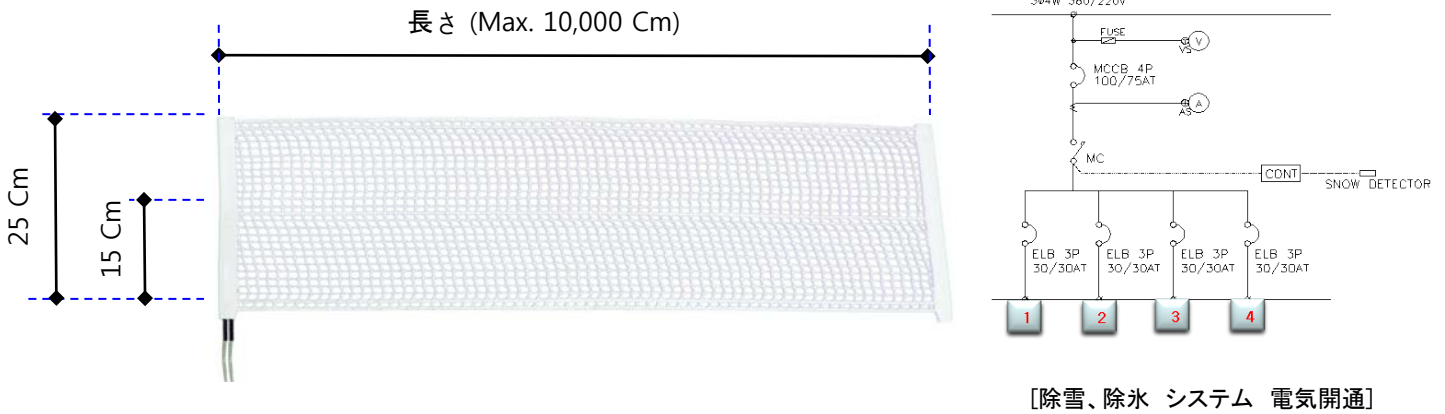
□ 特徴

- 感知器には、降雪や降雨を感知し、周辺温度 3℃ 以下になると自動的に GTG電熱網が作動しビニールハウス表面が常温(5~10℃)で蓄熱する事により融雪、融氷があります。
- 自己制御機能で電力量の消費が少なく(35% 節減)
- 除融雪に伴う人件費及び整備費用等がかかりません。
- 電気を使用する事で、融雪や融氷が安易になります。
- 積雪の加重による、ビニールハウスの倒壊防止に役立ちます。

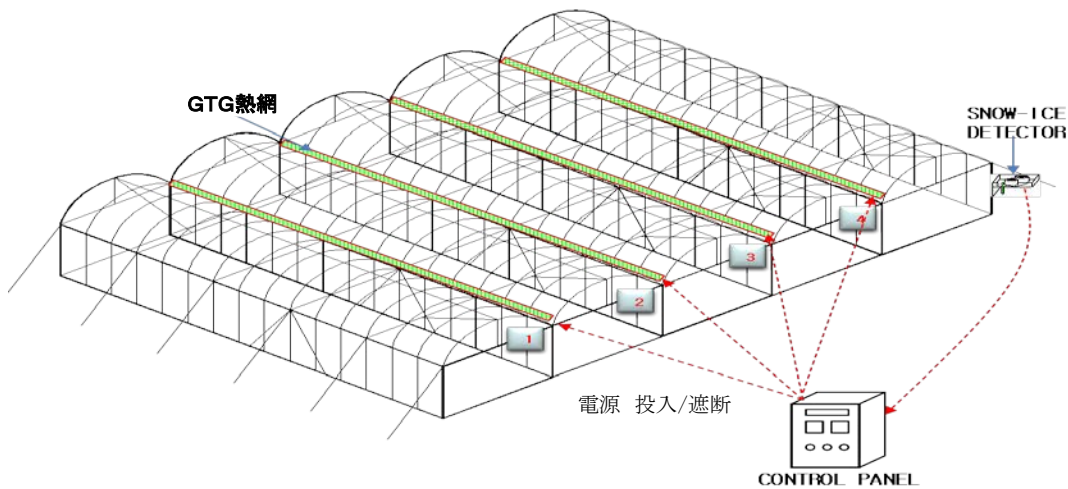
□ システム仕様

区 分	仕 様
絶縁抵抗	20 MΩ 基準
使用電圧	AC220 V, 60 Hz
熱量	250 W ~ 350 W (許容誤差 ±10%)/m ²
供給電源線 許容電流	30 A 以下
使用用途	温室,ビニールハウス 除雪/除氷用 発熱体
発熱温度(温度調節器)	20 °C ~ 102 °C

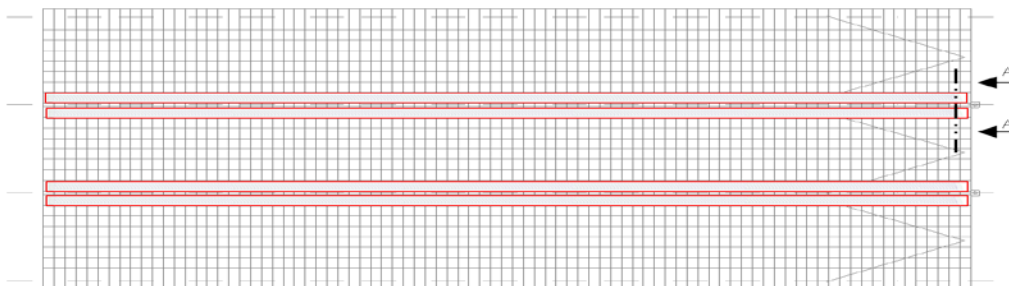
品名	規格 (幅,Cm)	熱量 (Watt,m ²)	長さ
GTG-503-010	15	250~350	5,10,15,20,25,50,100M等 製品容量により異なります。
GTG-503-020	25	250~350	



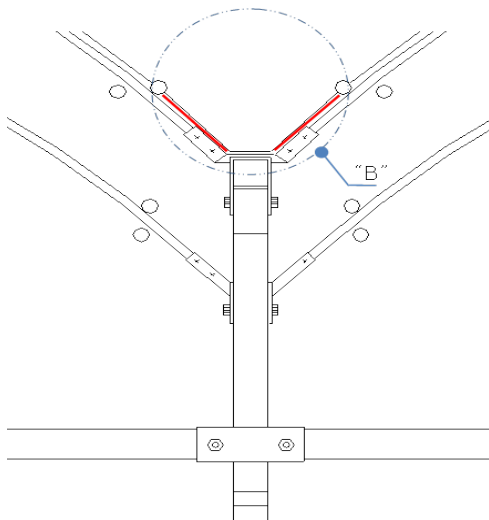
□ 設置 構成図



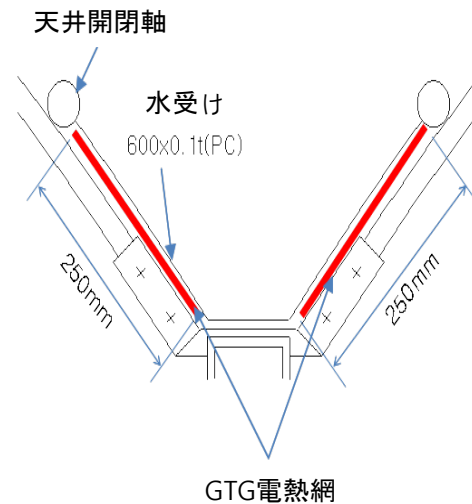
□ 1階 支柱 平面図



□ 1階 支柱 平面 A-A' の断面, 詳細図



[“ A-A' ” 部分断面図]



[“ B ” 部分詳細図]

□ 施工順序

- 連動ハウス水受け側面(左.右) 設置 位置選定
- GTG 電熱網 , SNOW/ICE DETECTOR 設置
- コントロールパネル設置など電気工事
- 発熱 TEST, 水受け 作業
- 除雪用温度制御